

私たちは、逆境を乗り越えて
夢を叶えるチカラを持っている

ビヨンドトゥモロー
ジャパン未来リーダーズサミット 2023
開催地:東京
11/3[金] 4[土] 5[日](2泊3日)

人との出会いは、人生の選択肢と可能性を広げてくれる

参加費

無料 (往復交通費・宿泊費・食費・活動に係る費用を主催者が規程に基づき負担)

募集人数

全国に居住している高校生約30名 (書類選考あり・詳細は応募要項参照のこと)
下記の条件の一つ以上に該当する者。

- ①保護者が死亡。
- ②単親家庭である (母子家庭、父子家庭など)
- ③児童養護施設などの児童福祉施設に暮らしている。
- ④里親家庭に暮らしている。
- ⑤生活保護受給世帯に暮らしている。

応募方法

応募用紙に必要事項を記載の上、9月29日 (金) までに応募のこと (9月1日より受付)
(応募用紙は各高等学校に配布しています)

プログラム内容

著名人との対話セッション・ワークショップ・提言作成・
キャリアセッション・閉会式など

ビヨンドトゥモローについて

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン (地球市民) の輩出をめざす人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っています。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う若者たちが集い、深い思考と真摯な内省を基軸に、他者との対話を試みるというアプローチを通じ、より広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出にむけて様々な活動を行っています。

ジャパン未来リーダーズサミット2023

11/3 [金] 4 [土] 5 [日] (2泊3日) 開催

プログラム概要	11月3日 (金)	集合 (東京) ・ オリエンテーション ・ グループ分け ・ アイスブレイキング ・ 体験共有など
	11月4日 (土)	著名人との対話セッション ・ ディスカッション ・ 提言プレゼンテーション作成 ・ キャリアセッションなど
	11月5日 (日)	閉会式 ・ 提言発表会 ・ フェアウェルランチなど 14時～15時頃東京駅解散予定 (各自で帰宅。引率なし)
募集人数	約30名	
応募資格	応募資格：以下の条件を満たす者。 ①プログラムに参加する時点で高等学校、高専またはそれに準ずる学校に在籍すること ②下記のいずれかに該当すること。 - 保護者が死亡している - 単親家庭 (母子家庭・父子家庭) である - 児童養護施設などの児童福祉施設に暮らしている - 里親家庭に暮らしている - 生活保護受給世帯に暮らしている ③11月3日～5日のプログラム全日程に参加できること。	
費用負担について	無料 (往復交通費・宿泊費・食費・活動に係る費用を主催者が規程に基づき負担します。遠方からの参加者には、規程に基づき自宅最寄りの指定駅・空港・港～会場往復切符を主催者が支給します)	



ビヨンドトゥモローは、「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、困難な状況にある若者を応援しています。



“ビヨンドトゥモローに参加したことで、「自分が見失っていた大切なもの」に気がつきました。私は里親のもとで暮らすようになってから、児童養護施設で離れて暮らす妹と弟と会うと、父親からの虐待と学校でのいじめを思い出してしまうのでとても辛かったので、自分の家族のことがとても嫌いでした。ですがビヨンドトゥモローの同じ班のメンバーから「自分の家族が欲しかった」という言葉聞いたときに、私は初めて自分の妹や弟という家族がいることは他の人よりも幸せで大切なことなのだ気がつくことができました。”

山中さん (仮名) K大学 (都立K高等学校卒業)
高校2年の時に初めてビヨンドトゥモローの年間奨学金プログラムに参加し、その後、サミットに参加。



“自分だけが辛い経験をしてと思っていた。ビヨンドトゥモローの仲間に出会い、そうではないと知るとともに、自分を受け入れてくれる、支えてくれる仲間・家族ができた。そして、自分たちだからこそその視点で社会・世界を見て私たちに何が出来るのか考えるのがすごく楽しく、仲間からいつも刺激を貰っています。”

鈴木さん (仮名) H大学 (北海道A高等学校卒業)
高校1年の時に初めてサミットに参加し、その後、ビヨンドトゥモローの年間奨学金プログラムに参加。

BEYOND
Tomorrow

主催 一般財団法人教育支援グローバル基金
〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-26-18 園ビルディング1F
電子メール : info@beyond-tomorrow.org
電話 : 03-5453-8030

過去のサミットの
様子や参加者の
声を発信中！



Twitter



Instagram

【応募要項】

ビヨンドトゥモロー

ジャパン未来リーダーズサミット 2023 (参加費無料)

— 全国の高校生・大学生が考える、日本の未来、世界の未来 —

一般財団法人教育支援グローバル基金

一般財団法人教育支援グローバル基金は、2023年11月に、「ジャパン未来リーダーズサミット2023」を開催します。本サミットは、日本全国から、広い視野を持ち、他者に想いを馳せることのできる共感力ある人材を輩出するという趣旨の下に開催されます。特に、様々な事情により社会的な事情で機会を得ることが難しい状況にある学生を対象とし、日常とは異なる気づきと発見を経て、より広い視野から自分の社会における役割を考える機会の提供を目的としています。

2泊3日のプログラムを通し、参加者たちはそれまでの人生の体験を共有し、また、様々な領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、社会に存在する課題について検証し、日本の未来について、世界の未来についてグループ毎に提言をまとめます。その提言は、最終日に、政治・行政・ビジネス・メディア・NGOなど各方面のリーダーたちの前で参加学生自らによって発表されます。また、対話形式のプログラムの中では、幅広い領域で活躍する第一人者の方々を招いて将来のビジョンについて考える機会も提供します。

ぜひ、かけがえのない仲間たちと出会い、将来にむけて視野を広げ、自分の役割について考える機会としていただけたら幸いです。

【主催】一般財団法人教育支援グローバル基金

【実施場所・時期】

- 開催場所：東京都内（後日詳細と合わせてお知らせします）
 - 宿泊場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町 3-1）
 - 時期：2023年11月3日（金・祝）～5日（日）
 - 集合場所：11月3日（金） 午後東京集合（遠方からの参加者については、事前に飛行機／新幹線／特急／バス／船切符を送付します）
- ※ 復路は11月5日（日）14時～15時頃東京解散予定。各自で帰宅。

【費用】

- 無料（往復交通費・宿泊費・食費・活動に関わる費用を主催者が規程に基づき負担します。遠方からの参加者の交通費は、規程に基づき自宅最寄りの指定駅／空港／港～会場間の往復切符を支給します）

【プログラムスケジュール】※詳細は変更となる可能性があります。

- | | |
|----------|--|
| 11月3日（金） | 集合（東京）・オリエンテーション・グループ分け・アイスブレイキング・体験共有など |
| 11月4日（土） | 各界第一人者との対話セッション・ディスカッション・提言プレゼンテーション作成・キャリアセッションなど |
| 11月5日（日） | 閉会式・提言発表会・フェアウェルランチなど・14時～15時頃東京駅解散予定（各自で帰宅。引率なし） |

【募集対象者】

募集人数：約 30 名

【応募資格】

以下の条件を満たす者。

- ① プログラムに参加する時点で高等学校、高専またはそれに準ずる学校に在籍する者（4年制、5年制などの学校に通う方は、1年生～3年生が対象となります）。全日制・定時制・通信制の全てが対象となります。
- ② 下記のいずれかに該当すること。
 - イ) 保護者が死亡。
 - ロ) 単親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。
 - ハ) 児童養護施設などの児童福祉施設に暮らしている。
 - ニ) 里親家庭に暮らしている。
 - ホ) 生活保護受給世帯に暮らしている。

※イ～ホの条件について、応募時点で法的に満たしていることが必要となります。後日、証明するための公的書類を提出いただく可能性があり、条件を満たしていないと判断した場合には、応募・参加は認めません。
- ③ 11月3日～5日のプログラム全日程に参加できること。

【応募受付開始・締切】

2023年9月1日（金）受付開始、同年9月29日（金）締切（必着）

【応募方法】

応募書類（別紙）に記入の上、下記送付先まで郵送のこと（切り取って郵送先のラベルとして使用できます）。
※郵便局留のため、宅急便では受取ができません。必ず郵便でお送りください。
※応募期間中のみ開設している受付窓口です。受付期間を過ぎた郵送物は10日後に返送されます。
※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13
渋谷郵便局留
一般財団法人教育支援グローバル基金
ビヨントゥモロージャパン未来リーダーズサミット2023係行
（渋谷区松濤1-26-18 園ビルディング 1F）
※宅急便で送付すると届きませんのでご注意ください。

※提出頂いた情報は、ビヨントゥモローから、ビヨントゥモローのプログラムの運営および各種の取り組みのご案内のために使用されます。この目的の適正な範囲内において、いただいた情報は、委託先に必要に応じて提供されることがあります。

例年、間違った住所への送付、締切後の到着、応募用紙の必要事項の記入漏れなどの理由により、受理できない事例が多数発生しています。必ず提出方法を確認の上、正しい方法で期日までに提出してください。受理されたかどうかの確認、受理できなかった理由についてのお問い合わせは一切受け付けておりません。可否結果は、合格者にのみ、応募用紙に記載の住所の本人宛てに郵送します。

【合格通知について】

2023年10月13日（金）までに、合格者のみに発送いたします。合格者本人宛てに通知を送付します。

【問い合わせ先】

電子メール：info@beyond-tomorrow.org ファックス 03-6745-9100 電話：03-5453-8030

ウェブサイト：<http://beyond-tomorrow.org>

参加体験者のストーリー



菅野さん（仮名） J大学総合グローバル学部（U学院高等学校）

幼少期に父親と離別し、以後母子家庭で生活する。成長する中で自分の境遇に対し葛藤を抱くことが多かったが、高校生のときに参加したジャパン未来リーダーズサミットを通して、自分の将来について深く向き合う機会を得た。その後ビヨンドトゥモローの大学生向け奨学生プログラム「ジャパン未来スカラシップ・プログラム」およびインターンに参加。

私がビヨンドトゥモローを知ったきっかけは高校の教室に届いた一枚の応募要項が記載された用紙でした。教室の掲示板に貼られたプリントを何度も見返しながら、幼少期から無意識に感じていたひとり親家庭の中で感じる心の中の疎外感・葛藤、そして小さい頃から感じていた、「自分のような境遇にいる学生との対話の時間を通して何かを共有してみたい」という気持ちをひしひしと感じていました。でも自分自身で知らない世界に飛び込むような感覚を同時に感じ、参加に対してためらいを感じていました。しかし、応募要件にもあるようにひとり親家庭で育つ私自身だからこそ、参加する意味があるのではないかと感じ、ジャパン未来リーダーズサミットへの参加を決めました。

サミットの参加を通して印象的だったのは、自分の境遇や関心について共有する時間です。どの地域からサミットにきたのか、自分のバックグラウンド、関心があることなど、様々な思いを一緒に参加する仲間と共有しました。また、普段から自らの境遇を話すことを無意識に避けていた自分をあらためて認識したり、自分自身はもちろん、その場に集う学生がそれぞれの境遇に立ち返り、一つ一つの感情を言葉に置き換える瞬間があったりそんな時間が印象的でした。もう一つ印象的だったのはサミットの集大成として行われる提言発表、そして提言発表までの真剣に議論を行う時間です。自らの境遇や価値観を話しているからこそ、自分を偽らずに心のままに意見を交わすことができたり、時には結論が見えずにみんなで頭を抱えたり、そんな議論の時間がとても思い出に残っています。

ジャパン未来リーダーズサミットへの参加を通して、ビヨンドトゥモローにスカラシップ・プログラムがあることを知り、ビヨンドトゥモローでの活動に再度参加したいと感じ、昨年度はスカラシップ・プログラムに参加をしました。ビヨンドトゥモローを通じて出会った一人一人の仲間と時間を共にすることで、自分自身そして他者の存在を感じられることがビヨンドトゥモローで活動する意義だと感じています。

ジャパン未来リーダーズサミットの応募用紙を読んでいるみなさんは、誰かに気持ちを共有したい、誰かとの出会いを大切にしたい、あるいは自分の可能性を広げてみたいと感じている方もたくさんいらっしゃると思います。そこには挑戦という気持ちよりも緊張や不安が大きいかもかもしれません。でもきっとみなさん自身や周りの人々が様々な形で背中を押してくれると思います。ジャパン未来リーダーズサミットに集まる仲間とビヨンドトゥモローの自分や他者を改めて考える機会にできたら、一人一人にとって大きな収穫になる機会だと思います。誰かの価値基準ではなく、自分自身の素直な心で他者との関わりを広げてみませんか。

よくあるご質問（FAQ）

Q 遠方に住んでおり、指定の時間までに東京に到着できるか不安なのですが、応募できますか。

A 遠方に住んでいる参加者は、個別に交通経路を手配しますので、奮ってご応募ください。

Q 応募は、学校単位ですか。一校あたりの応募数に制限はありますか。

A 応募は、学校でとりまとめていただいても、ご本人が個別に送っていただいても構いません。ただし、合格通知は、学校ではなく、ご本人に送付します。一校あたりの応募者数に制限はありません。

Q サミットに保護者や教員が同行することはできますか。

A サミットにはご本人のみの参加となり、保護者や教員の方がサミットに参加することはできません。

Q 地方に住んでいて、県外に出たことがほとんどありません。一人で東京に行けるかどうか、プログラムについていけるか不安なのですが、大丈夫でしょうか。

A 参加者の多くが初めて一人で上京しますし、このような活動が初めてという人がたくさんいます。不安の中で応募し、挑戦することで大きな成長を遂げた人がたくさんいますので、ぜひ奮ってご応募ください。

【一般財団法人教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」を運営し、奨学金支給および人材育成プログラムの運営を行っています。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う若者たちが集い、深い思考と真摯な内省を基軸に、他者との対話を試みるというアプローチを通じ、より広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出にむけて様々なプログラムの運営を行っています。

理事	橋本 大二郎（代表理事） 小林 正忠 木山 啓子 本庄 竜介 村瀬 悟	元高知県知事 楽天グループ株式会社 常務執行役員 チーフウェルビーイングオフィサー 特定非営利活動法人ジェン（JEN）理事・事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
評議員	塩崎 恭久 宮城 治男 小宮山 利恵子	前衆議院議員、一般財団法人勁草日本イニシアティブ代表理事 NPO 法人 ETIC. 創業者 スタディサプリ教育AI研究所所長
アドバイザー	阿川 尚之 竹中 平蔵 櫻井 本篤	慶應義塾大学 名誉教授・同志社大学 教授 慶應義塾大学 名誉教授 前ジャパンソサエティーNY 理事長
監事	上滝 賢二	元日本放送協会理事

【設立年月日】

2011年6月

【ウェブサイト】

<http://beyond-tomorrow.org>

【所在地】

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-26-18 園ビルディング 1F

【メール】

info@beyond-tomorrow.org

【電話／FAX】

03-5453-8030／03-6745-9100

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来リーダーズサミット 2023 応募用紙

名前	(氏)	(名)
ふりがな	(氏)	(名)
ローマ字	(氏)	(名)
本人自宅住所 (郵便物送付先)	〒	
電話番号	自宅 or 携帯	メールアドレス:
性別・学年	男 ・ 女 (○をつける)	学年
学校	学校名 (正式名称)	
	学校住所 〒	
	種類 (○をつける) 全日制 ・ 定時制 ・ 通信制 ・ その他 ()	
生年月日	(西暦)	年 月 日
応募資格	<p>下記の中で、該当するもの全てに○をつけてください (例: 保護者が死亡したために現在単親家庭である場合は、1と2と両方に○をつけてください)</p> <p>1. 保護者が死亡している。 いつどのような事情でどなたが亡くなったのかできるだけ詳しく記述してください。</p> <p>[]</p> <p>2. 現在、単親家庭である。 該当するものに○をつけてください。</p> <p>父子家庭 ・ 母子家庭 ・ その他 (具体的に説明してください)</p> <p>3. 現在、児童養護施設などの児童福祉施設に暮らしている。 いつから施設に暮らしているか記入してください。</p> <p>(西暦) 年 月から</p> <p>施設名 _____</p> <p>施設種類 (○をつけてください) 児童養護施設 ・ それ以外 (具体的に) _____</p> <p>4. 現在、里親家庭に暮らしている。 (西暦) 年 月から</p> <p>5. 現在、生活保護受給世帯である。 いつから生活保護を受給しているか記入してください。</p> <p>(西暦) 年 月から</p> <p>上記に関して、事実と異なる記述や虚偽の申告があった場合には、応募資格・参加資格が取り消されることがあります。</p>	

【裏面に続く】

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来リーダーズサミット 2023
学校長推薦書

(学校長により記入・厳封されたものを、志願者が応募書類と共に提出のこと)

学校名	
志願者氏名	

※学校長の方へのお願い

必ず、志願者が記入した応募用紙の内容をご確認の上、本推薦書をご記入ください。

上記の者がビヨンドトゥモロー ジャパン未来リーダーズサミット 2023 応募にあたり記入した応募用紙の内容は、学校が把握する限りにおいて正確なものであることを確認し、ビヨンドトゥモロー ジャパン未来リーダーズサミット 2023 に推薦します。

日付

住所

電話番号

学校長名

印

特記事項がある場合は、こちらにご記入ください（特にない場合は不要です）。本プログラムは、社会経済的に困難な状況にありながらも社会の力となる志を持つ若者を対象とし、奨学金給付や人材育成事業を運営しています。選考にあたり、当財団が志願者について知るべき背景や資質がある場合には、下記に具体的に記入してください。紙面が足りない場合は、裏面又は別添として記載してください。

本状は必ず学校長が記入・厳封した上で、志願者に渡してください。